

令和 8 年度 第 1 回聖籠町介護保険運営協議会 議事要旨

開催年月日	令和 8 年 7 月 28 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
開催場所	聖籠町役場 3 階 大会議室
委員定数	10 名
出席者氏名	1 号委員 森猛義 2 号委員 高橋明美、丸山貴広 3 号委員 牧野房子、諸橋裕、古俣元
出席職員	長寿支援課 齋藤課長 阿部課長補佐、山崎副参事、吉田主任 松本保健師 町民課 齋藤課長、和田課長補佐、谷内田主任、小池主事
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 会議録署名委員の指定について 4 議 題 5 その他 6 閉 会

議題（1）聖籠町介護保険運営協議会

- 第 10 期介護保険事業計画策定に向けた方向性の説明について
事務局から資料 No. 3 により説明

- 質疑応答

委 員 資料が多いので、なるべく簡潔に、より分かりやすく簡単に説明をしていただくとありがたい。

事務局 分かりやすい説明に努めたい。

- 第 10 期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査結果について
事務局から資料 No. 4、No. 4-2 により説明

- 質疑応答

会 長 ニーズ調査で有効回答率が 70%を超えており、非常に高い回収率と感じた。また聖籠町はアンケート結果から見ると独居の方が少ない印象を受けた。

私自身、サルコペニアやロコモの調査を継続している。経過を見ると身体機能が低下する方がいる一方、機能を維持されている方も多く、予防の取組みが重要だと感じている。特に女性は関節疾患を持つ方が多いものの、様々な活動を続けている方も多い。活動量が身体機能の維持に関係していると考えられ、10 年ほど片足立ちができる

身体機能を維持しているなど、元気に生活している方も多い。その意味でも継続的に活動することの重要性を感じている。また、人材確保はどの地域でも共通する課題であり、人材育成や働く環境を含め、どこまでサービスを支援していくかは難しい課題となる。買い物や移動手段など、介護サービスに関わる現実的な課題もある。現在もさまざまな取組みが行われていると思うが、既存の取組みをさらに充実させながら、第10期計画に反映していくことが重要。今後、具体的な施策としてどのような形にしていくのかが大きな課題になると考えられる。

委員 職員の家族と関わった中で、末期がんの家族を自宅で看たいと希望があり医療機関と連携して療養体制を整えた。退院時に病院からいつでも戻ってきてもいい、痛かったら戻ってきていいと言われたことが家族の安心につながった。自宅で介護し、症状悪化により約1週間で再入院し、その後約1週間で亡くなった。最期は病院で家族が交代しながら付き添うことができ、安心して看取ることができた。この事例から、本人・家族の希望を支えるためには、介護と協力病院が日頃からつながり、必要時にスムーズに連携できる体制が重要だと実感した。また、先ほど買い物の話しが出たがある食料品店から聖籠町で移動販売を行い、介護施設も訪問したいとの話しがあった。施設入所者が自分でお小遣いを持ち、好きな物を選んで購入することは、楽しみや生きがいにつながる。買い物ツアーは職員体制の都合で参加人数が限られるが、移動販売なら施設の玄関先まで来てもらえるため、より多くの利用者が買い物を楽しめる。地域の商店や企業が活躍していることで助けられているのだと実感した。

● 令和7年度介護サービス事業量及び給付実績について

事務局から資料 No. 5-1、No. 5-2、No. 5-3、No. 5-4 により説明

○ 質疑応答

会長 資料 No. 5-2 の事業サービス量の給付実績について、サービス量の増減があり最終的には4,500万円ほど基金を積立てられたが、増減の中で特徴や要因があるのか。

事務局 短期入所生活介護や介護予防短期入所生活介護が、前年度と比較して増えている。これは、在宅で介護を受けている方が、月に数日程度ショートステイを利用するケースが増えているため。認知症のある方などについて、家族の仕事が忙しく、介護との両立が難しくなっていることが増加の要因と考えられる。また、令和7年度は施設サービス費も増加した。令和6年度から増加傾向が続いており、コロナ禍が明けたことで施設入所がスムーズになり、コロナ禍前の水準に戻ったことが要因と考えられる。さらに、介護者の仕事と介護の両立が難しいケースが増えていることも、施設入所の増加につながっていると考えられる。介護予防サービスの増加は、新潟聖籠病院が令和5年度から訪問リハビリテーションを開始したことも要因の一つと考えられる。入院患者が退院後に訪問リハビリテーションを利用するケースが増えたことが、介護予防サービスの増加につながっていると考えられる。

委員 資料 No. 5-4 の令和7年度実績で、新潟聖籠病院との情報交換会とあるが、これはMSW

（医療ソーシャルワーカー）との情報交換会か。
事務局 そのとおり。

- 令和 8 年度保険者機能強化推進交付金等における評価結果について
事務局から資料 No. 6 により説明

○ 質疑応答 なし

議題（2）聖籠町地域密着型サービス運営委員会

- 令和 7 年度地域密着型サービスの利用実績について
事務局から資料 No. 7 により説明

○ 質疑応答 なし

議題（3）聖籠町地域包括支援センター運営協議会

- 令和 7 年度聖籠町地域包括支援センターの実績について
事務局から資料 No. 8 により説明

○ 質疑応答

会 長 病院と地域の連携が不十分な部分があり、今後の課題であると感じた。また、高齢者虐待が増加しており、表面化していないケースもあると考えられる。配偶者を亡くした後、息子や娘などの家族と同居する世帯も多くあるが、そういった関係性やその辺りも勉強していると感じた。

以上